



## 心をこめて♪ 11月のテーマは『ハーモニー』

6年生が力を合わせ、音楽室から体育館への楽器運びを頑張ってくれました。いよいよ音楽会に向けての体育館練習が熱気を帯びてきました。音楽というものは、積み上げが大事と言われており、急によい声やよい音が出せるものではありません。ましてや、みんなの心をひとつにするというのは、たやすいことではありません。子どもたちと教員は今、何度も何度も練習を繰り返しながら、本番に向けて大きな坂道を登っています。坂道の上には、いったいどんな景色が待っているのでしょうか。



先日、4年生のあるクラスの前を通ると、子どもたちが音楽会のスローガンについて話し合っていました。「心を一つにとどけよう」「気持ちこめて美しく」「きれいな音色をとどけよう」「みんなを感動させる音楽会にしよう」等々、子どもたちの音楽会にこめる思いが伝わってくる素敵な授業でした。



## ほんものの感動体験で心に残る音楽会に！

音楽会に向け、保護者の皆様に3つのお願いがございます。【1つ目】子どもたちをそっと見守ってあげてください。できれば、お子さまに向かって手を振るのは控えていただき、子どもたちが集中できるようにご協力ください。音楽が得意な子ばかりではありません。本番で緊張して失敗してしまう子がいるかもしれません。何が起こっても、どうか温かくお見守りいただけたら有り難いです。【二つ目】わが子の姿だけでなく、全体から響いてくる音色、何より子どもたちの思いをからだ全体で受けとめ、臨場感を味わっていただきたいと思います。そして【最後】のお願いです。子どもたちの思いが伝わりましたら、ぜひ、会場いっぱいに響き渡る大きな拍手で子どもたちを包んであげてください。



以前、私が担任していた子どもが、音楽会後の感想文でこんなことを書きました。「私たちはやりきった。みんなとてもがんばったと思う。でも、思ったより拍手が少なかった。悲しかった。」と。これを読んだ時、私はとても残念に思いました。拍手が小さかったのは、多くの方々の手がビデオやカメラでふさがれていたからです。子どもたちにとっての感動は、お家で観るビデオでは味わうことができません。自分たちがやりきったその瞬間、その場でお返しいただく盛大な拍手こそが、子どもたちにとって何にも代えられない最高のご褒美となります。そのため本校では、音楽会での撮影を一切お断りしております。子どもたちが「いっぱい達成感」と「ほんものの感動」を味わうことができ、心に残る音楽会となりますよう、皆さまのご協力をお願いします。当日は、両手をしっかりあげていただき、耳と目と心で生の子どもの姿、そして子どもたちの奏でるハーモニーをどうぞお楽しみください。

